

SAPIX	6年														
	算数														
学習内容	夏期講習 06 規則性 07 場合の数 (1) 08 平面図形 (2) 09 立体図形 10 数の性質 (2) 11 割合 (2) 12 速さ (2) 13 図形の移動 14 平面図形 (3) 15 推理と論証 16 文章題総合 17 場合の数 (2) 18 表とグラフ														
家庭学習 ポイント	夏期講習の内容は「総復習」で、夏を通してすべての学習単元をもう一度確認していく内容となっています。1ヶ月あまりで18回分の学習内容をすべて網羅します。1回の内容は膨大で、しかもかなり難度の高い問題まで扱います。志望校や目的に合わせ、優先順位をつけて学習していくことが必要です。各単元がそうですが、その単元で今まで学習したものすべてが内包されるテキストになっています。たとえば6回「規則性」であれば日暦算、期数列、図形が増殖する問題、空き瓶の問題、掃除当番、数表と規則性といった具合です。難関校希望者は基本的にすべての問題パターンにつき習得しておく必要がありますが、中堅校などが第一志望の場合は取捨選択して優先順位を付ける必要があります。また夏期講習とは別に、中堅校志望のお子さんは「夏期集中志望校鍛成特訓を受講するのか」というのも考え方です。判断の基準は「単体の中学校のコースに所属していない」「なんとかしなければいけない科目、単元（分野）がある」などですね。														
課題の把握と解決策	チェック1	夏期講習の学習サイクルが「まわって」いますか？							チェック						
	解決策	「当日軽く復習→翌日午前に宿題」というサイクルが回っていればOKです							<input type="checkbox"/>						
	チェック2	夏期集中志望校鍛成特訓を受講するかどうか決めていますか？							チェック						
	解決策	休むという選択をする場合は「代わりに家庭で何ができるか」を考えておく必要があります							<input type="checkbox"/>						
	チェック3	「場合の数」が「とにかくなんとなく計算に持ち込む」にならないですか？							チェック						
	解決策	入試問題でも「書き出して規則性を自分で見つける」が主流になっています							<input type="checkbox"/>						
	チェック4	夏期講習の1回1回の授業で「積み残し」が把握できていますか？							チェック						
	解決策	「積み残し」が出てしまうのは仕方ないので「あとで補う分野」を把握しましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック5	算数だけに膨大な時間と労力を取られていませんか？							チェック						
	解決策	算数は大切な科目ですが、他教科との学習バランスも注意しておきましょう							<input type="checkbox"/>						
SAPIX	6年														
	国語														
学習内容	夏期講習 06 詩など 07 物語文 08 説明文 09 隨筆文 10 物語文 11 論説文 12 隨筆文 13 物語文 14 論説文 15 隨筆文 16 物語文 17 詩など 18 論説文														
家庭学習 ポイント	夏期講習で大量の問題を解いていると、逆に正答率が下がっていくお子さんがいます。厳しい時間制限を設定して解くことを繰り返す中で、普段できていた解き方、考え方方が解き方が難になり、「文種によって解き方、考え方の『型』」があり、それを実行することが大切」という基礎的な考え方から離れてしまうのです。夏期講習では、これまでに習ってきたすべての文種について扱いますが、ただただ毎日が「解きっぱなし」に近い状態になってしまふと、夏期講習で国語に費やす30時間以上の時間が無駄になってしまいかねません。1学期の国語の学習が今ひとつ結果に結びついていない場合は、もう一度それぞれの文種の基本的な読解法を思い出し、夏期講習で何を身につけたいかをはっきりと意識して取り組みましょう。復習のサイクルは普段にくらべて3倍程度になります。できる限り授業で完全に理解すること、その日のうちに復習を済ませることを実行ていきましょう。														
課題の把握と解決策	チェック1	夏期講習のテキストの使い方について理解していますか？							チェック						
	解決策	夏期講習のテキストはウィークリーサピックスと同様と考えましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック2	文種ごとの「読解法」を意識的に実行して問題を解いていますか？							チェック						
	解決策	「なんとなく」「解きっぱなし」にならないよう意識しましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック3	志望校の入試問題の傾向を理解していますか？							チェック						
	解決策	どのような文種が出やすいのか、どのような設問形式が多いのか、調べてみましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック4	夏期講習では復習のサイクルが普段より速くなる事を理解していますか？							チェック						
	解決策	家でじっくり理解すると言うことが難しくなるので授業の集中度をアップさせましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック5	語彙を増やすための努力をコツコツと続けていますか？							チェック						
	解決策	夏休み中も、語句や漢字など「ルーティン」の学習は続けましょう							<input type="checkbox"/>						

SAPIX	6年							
	理科							
学習内容	夏期講習 01 森林と食物連鎖 02 気体の発生 03 星総合 04 月総合 05 力学 (1) 06 電気回路 07 中和と水溶液 08 光総合～凸レンズ～ 09 力学 (2)							
家庭学習 ポイント	夏期講習では1回の授業で扱う内容がさらに多くなり、復習にサイクルもふだんに比べて早くなります。集中して授業を受ける事はもちろん、授業でわかったところ、わからなかったところをしっかり把握しておくことが大切です。カリキュラムは「受験理科の中で特に重要な単元のダイジェスト」といったところです。特に化学分野の「気体の発生」「中和と水溶液」では「ことばの式」による化学計算の復習と確認となります。手順通り書き出して整理し、比例計算を確実に行うことを確認しましょう。「星総合」「月総合」では暗記事項から天体の動きまですべてを含んだ天体分野の復習になります。特に星の日周運動と年周運動、月の満ち欠けに関する思考問題については、他の計算分野同様「定番」の解き方をしっかり確認し、忘れていたことがあれば覚え直す必要があります。力学に関しても、ばねの伸びに関する比例計算、てこのつり合いに関するモーメント計算など、定石の取り組み方を1つ1つ確認しながら実行していきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	夏期講習で慌ただしくなった復習のサイクルが「まわって」いますか？	チェック					
	解決策	授業ですべて習得する、という意識で集中度をアップさせましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック2	化学計算では「ことばの式」を書いて計算していますか？	チェック					
	解決策	「定番」といわれる解き方、書き方をしっかり実行することが大切です	<input type="checkbox"/>					
	チェック3	月の公転周期と満ち欠けの周期がずれている理由を説明できますか？	チェック					
	解決策	この事に関する計算問題も頻出ですね。自分のことばで説明できるようにしておきましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック4	豆電球と乾電池のつなぎ方とか色に流れる電流の大きさについて、正しく説明できますか？	チェック					
	解決策	電流、電圧、電気抵抗について正しいイメージを持っておくことが大切です	<input type="checkbox"/>					
	チェック5	ばねの問題では比例計算、てこの問題ではモーメント計算が正しくできていますか？	チェック					
	解決策	化学同様、「定番」といわれる解き方、書き方をしっかり実行することが大切です	<input type="checkbox"/>					
SAPIX	6年							
	社会							
学習内容	夏期講習 01 地理総合問題演習 (1)～日本の国土～ 02 地理総合問題演習 (2)～日本の第一次産業～ 03 地理総合問題演習 (3)～日本の第二次産業～ 04 地理総合問題演習 (4)～日本の交通と貿易～ 05 歴史総合問題演習 (1) 旧石器時代～平安時代 06 歴史総合問題演習 (2) 鎌倉時代～安土桃山時代 07 歴史総合問題演習 (3) 江戸時代～明治時代 08 歴史総合問題演習 (4) 大正時代～現代 09 公民総合問題演習							
家庭学習 ポイント	夏期講習では、地理総合問題演習 (1)～(4) (国土、産業、交通と貿易)、歴史総合問題演習 (1)～(4) (旧石器～昭和時代)、公民総合演習という全9回の授業で、地理と歴史の総復習を進めます。夏期講習の授業は（以降の平常授業やSSも同じですが）演習中心の授業になります。まず問題を解いてみて、忘れていたことや知らなかった「穴」を埋めるという順番で行われる授業です。演習中心の授業は「知識がほぼ頭に入っていて、あとは穴を見つけて埋めていくだけ」という状態で受講してはじめて真価を発揮します。したがって、なかなかうまく授業に取り組めない（解いても間違いばかりで「できない感」が強いなど）場合は、当該範囲について、あらかじめコアプラスなどを使って自分で「予習」しておきましょう。ベースとなる知識がある状態で取り組んで初めて、演習授業が身になります。講習会の授業を受けてみて初めて「知識の足りなさ」を実感している場合は、8月後半の志望校錬成の時間を、家庭学習に変えることを検討した方が良い可能性もあります。							
課題の把握と解決策	チェック1	コアプラスを最低一周まわした（覚えた）状態で夏期講習を迎えるか？	チェック					
	解決策	そうでない場合は、次の授業の分をあらかじめ学習してから講習の授業に臨みましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック2	夏期講習で慌ただしくなった復習のサイクルが「まわって」いますか？	チェック					
	解決策	予習に加えて、授業でできるだけ穴を埋める、という努力も必要です	<input type="checkbox"/>					
	チェック3	時事的な問題について、アンテナは立っていますか？	チェック					
	解決策	ふだんのニュース、サピックスの「じじもんスクラム」なども参考にしましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック4	国や人名について、漢字で書けるようになっていますか？	チェック					
	解決策	社会の回答は基本漢字で、というスタイルで入試に向けて準備しましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック5	夏期講習が始まるまでにやっておくべきことが具体的になっていますか？	チェック					
	解決策	8月からはマンスリーも実力テストになります。公民分野の復習もしておきましょう	<input type="checkbox"/>					